



## 生徒会役員引継ぎ・ありがとう三年生役員!

### 秋季生徒会で生徒会役員の引継ぎがありました。三年役員お疲れ様!

11月の生徒総会を最後に29年度三年生生徒会役員から二年生の新役員に引継ぎが行われました。三年生の役員の方々は、昨年度末の小諸未来義塾や県教育委員会主催の意見交換会等、校内の行事だけでなく、小諸高校生の代表として様々な場面で活躍してくれました。また、校内での生徒会行事についても「より良くしたい」という意気込みが強く感じられ、文化祭の日程変更等、職員とも議論を重ね、積極的に取り組んでくれました。

新役員の選挙後、二年生の新三役と校長室で懇談しました。三人の新役員はそれぞれに「より良い学校にしたい」という思いを語ってくれました。新役員を中心とした生徒会員全員の活躍を期待しています。



旧三役員：生徒会長・土屋和音さん、副会長・宮原拓未さん、副会長・田島鼓奈海さん  
 新三役員：生徒会長・中澤健太郎さん、副会長・松原萌夏さん、副会長・美斉津彩音さん

## 新人大会・各部活とも大活躍!

### 部活動も二年生にバトンタッチされ、

### 新体制のもと新人戦では多くの部活動が県大会に進み大活躍。

12月16日・17日に開催された、バレーボールの新人戦東信大会、吹奏楽アンサンブルコンテストの東信大会で、秋から始まった新人戦の東信大会は終了しました。

どの部活も先輩から引継ぎ、さらに活発な活動を続け、多くの部活動が県大会に駒を進めています。来春の小諸高校の活躍が大いに期待されます。

《女子バレー部員》



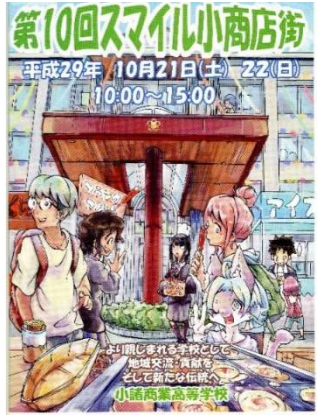
《男子バレー部員》



## 様々な分野で活躍する小諸高校生です。

### 小商のポスターに小諸高生の作品!

小諸商業高校で毎年開催されている「スマイル小商店街」は今年も10月21日22日におこなわれました。今年はそのポスターを本校2年4組の入澤龍聖さんが小諸商業高校から強い依頼を受けて制作しました。入澤さんは昨年小諸商業高校の「スマイルカフェ」の応援に生徒会役員として参加し、その際に贈った色紙の絵に小諸商業高校の皆さんが感動したことから依頼を受けたとのこと。同じ小諸の地で学ぶ高校生の温かな交流に一役買ってくれました。



### 「税に関する作文」入賞

税務署が主催する「税に関する作文」のコンテストに3年2組太田都和さんの作品が「長野県税務連絡協議会長賞」を受賞しました。高校時代に主権者となる皆さんには「税」のことをしっかり考える機会になってくれたらと思います。入賞おめでとうございます。

## 平成 29 年度 二学期終業式・校長講和 要約

終業式にあたり時間について考えてみたい。(市川誠著『時間の使い方』を科学する)から

「感じられる時間」の長さは様々。人それぞれでもあり同じ人でも時と場合により短く感じたり長く感じたりするもの。感じ方が異なる原因の一つは、代謝によつての違い。代謝が激しいと、その器官のカウントするペースが速くなる。そのため時間を長く感じるようだ。人はよく「年を取ると時間が過ぎるのが早くて・・・」という、年齢を重ねると、代謝が悪くなるから時間が短く感じるということ。

多くの生物は地球の環境に適応するため体の中に24時間の周期性を取り込んでいる。それを「circadian rhythm 24時間の周期性 概日リズム」と呼び、それによって変動する過程を「身体時計」と呼ぶ。この「身体時計」は体の一部ではなく、体中の細胞のほぼすべてに存在する。また、身体時計は、実際には24時間より長い周期を持っているのだが、日中の光を浴びることで、その遅れを補正しているとのこと。だから、夜に強い光を浴びるような生活や夜遅くに食べるような生活は身体時計を狂わせる。

「時間がない」ということを口にする人が多い。本当に「時間がない」のだろうか。

時間を使うということは「その時間を何に使うか」つまり、「自分で実行すること、実行しないこと」という「選択」のこと。人はその選択を常に行っているということ。人は選択肢が多いと選択することの心理的負担が高くなるし、選択した後の満足度は下がるといわれる。更に、現代は選択肢がどんどん増え続けている。また、高校生時代は人生において選択肢が最も多い時期であり、何をも選択可能な時期であることがわかる。さらにこの時期の「時間をどう使うか」というのは「どのように生きるか」つまりは「生き方を決定していることに他ならない」と思う。でも、そんな大変な選択は誰しも避けたい。自分の人生でありながら、自分の責任にはしたくない。「自分はしたくなかったけど・・・」などと、環境のせいにする。言い訳をする。その中でも、もっとも手っ取り早い言い訳が「時間がない」ではないだろうか。もう一度考えてみよう。きっとまだまだ、時間はあるはず。いっぺんに二つのことはできない。今、あなたがやるべきことを自分で選択しよう。志高い小諸高校生は選択するという負担に負けてはいけぬ。他人のせいにしてはいけぬ。自分で選択することから逃げてはいけぬ。

**「伸びしろ無限大」というのは、キミが大きな幸せを選択できるチャンスも無限大ということですよ。**

**2018年も皆さんにとって素晴らしい年でありますように。**

## 《保護者の皆様へ》 「学びの改革・第二回地域懇談会報告」

12月13日(水)に開催されました、県教育委員会主催の「学びの改革」に係る第二回地域懇談会には、PTA会長と同窓会役員の皆様に参加いただきました。ありがとうございました。

意見交換では「学びの改革実施方針」の「新たな学びの推進」に関する意見が多く出されました。

また、「再編整備計画」については、本校と小諸商業の同窓会会長より「統合に向けての実行委員会を発足する」旨の発言がありました。また、佐久地区の他校の同窓会関係者からは「中高一貫校を考えてほしい」「統合して活力ある学校にしてほしい」等の意見が出されました。